

編集後記

今年度もおかげさまで『心理相談研究21号』をお届けできましたこと、嬉しく思います。院生たちにとって、相談室紀要に事例論文を書くこととは、スーパーバイザーの先生や相談室スタッフ、教員に支えられながら行ってきた事例のプロセスを、自分の言葉で捉えなおし、考えたことを他者に向かって伝えようとする、一歩前に踏み出す動きであると考えています。訓練中の立場でありながらもクライアントにとっては唯一のセラピストとして出会っている彼女たちにとって、他ではない自身がコミットした事例について、自分で考えて言葉にし、伝えようとするのが、心理臨床家としての成長に資するところが大きいと思いますし、自身の取り組みを普遍化し事例研究を行う者としての第一歩を踏み出すプロセスであるともいえるでしょう。コメンテーターの先生には大変お世話になりますが、引き続き、ご指導・ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

また、当相談室の活動は、院生はじめスタッフの事例担当以外にも、PCIT実践や公開シンポジウム、CAREワークショップの開催などと多岐にわたっています。これらを通して、当相談室が大学附属の機関として、地域貢献の一助となっていることを願います。

(須藤 春佳)

編集委員

鶴田 英也・石谷 真一・小林 哲郎・國吉 知子・須藤 春佳・児玉 佳子
桑山久仁子・原田 紗妃・嶋田 有希・福井 友梨・鈴木奈津子・中山貴久子

心理相談研究 第21号

2020年3月31日 発行

発行 神戸女学院大学大学院人間科学研究科心理相談室
〒662-8505 西宮市岡田山4-1
TEL 0798-51-8554
FAX 0798-51-8555

印刷 尼崎印刷株式会社
〒661-0975 尼崎市下坂部3丁目9-20
TEL 06-6494-1122
FAX 06-6495-2360